

9月

認定こども園

中之島ちどり保育園通信

社会福祉法人
晋栄福祉会

2024年

じりじりと焼けつくようだった夏の日差しが少しだけやわらぎ、過ごしやすくなってきたように感じています。水あそびやプールあそび、夏祭りなど夏の思い出と共に、一回り大きくなったようなたくましくなった姿の子どもたち。引き続き、暑さや台風等の天候にも留意しながら過ごしていきたいと思ひます。

『なかのしまちどりのき』

今年中之島ちどり保育園は10年を迎えました。

子どもたち、保護者の皆様、職員との10年間。みんなで助け合ったり、協力し合ったり、泣いたり笑ったりしながら、生活やあそびの中でいろいろな経験を積み上げてきました。

そしてその中で感じ合う「仲間の大切さ」や「繋がり大切さ」。これからも大切に育んでいきたいと思ひます。

毎年皆様のご協力で作成してきた『なかのしまちどりのき』。

愛情や思いや願ひの詰まったメッセージは子どもたちへの素敵なプレゼントです！！ご協力に感謝！！です。

また、今年の平和の集いでは、この10年育んできたことを、写真を見ながら振り返ったり、職員たちが子どもたちの健康を願ひ「エイサー」を踊ったり、絵本を通して仲間とのつながり、命の大切さ、平和について考えたり、「ちくちくことば」「ふわふわことば」について話し合いました。子どもたちの心に、また1つ大切な力を積み上げてくれたと思ひます。



手つなぎ人形

ふれあいあそび



りんごがドスン



なかのしま
ちどりのき

職員のエイサー



10周年のライドショー

9月の行事予定



- ・ 2日(月)
- ・ 17日(火)
- ・ 24日・25日(火・水)
- ・ 27日(金)

体育指導 (にし・ほし・そら・ゆめ)
お月見会
身体測定
災害訓練



※10月3日(木) 運動会ごっこ(ほし・そら・ゆめ)

※10月8日(水) 運動会ごっこ予備日(ほし・そら・ゆめ)

※運動会ごっこについては後日詳細をお知らせ致します。

(ほし・そら・ゆめ)

あさひぐみ

園での生活にも慣れ笑顔がたくさん見られるようになってきた子どもたち！初めて保育園に登園した時は不安いっぱいな表情や泣いていましたが、今では保育者に手を振ったり笑顔で抱っこを求めたりもしてくれます！いろんなあそびもできるようになってたくさん身体を動かしたり、ブロックを積んで保育者に見せてくれたり、ボールを追いかけてたりもしています！お友だちの存在にも少しずつ気が付いていて降園するお友だちにバイバイとそばによっていたり、一緒にサークルや手作りお家に入って動物のポスターをみたり、いないいないばあをしたり、保育者やお友だちと一緒に動物図鑑を囲って見ながら動物さんの真似っこあそびを楽しんでいます！先日お部屋にお友だち1人1人の写真を貼りました。『あ！あ！』とお友だちや自分の写真を指差したり、手を伸ばしたりとみんな興味津々です！1人1人の写真を見ながらお名前を呼ぶとお返事したりお友だちの方を見たりとみんなにこにこ笑顔いっぱいでした！ふれあいあそびも大好きでお友だちと隣同士で寝転がっては保育者と歌に合わせてスキンシップを大切にしながら「大好きだよ！」「かわいい！」という気持ちを込めて子どもたちも職員も楽しんでいます！残り半年となるあさひ組での生活の中で子どもたち1人1人が大好きな存在、大切な仲間、という気持ちを伝えながら丁寧な関わりをしていきたいと思っています。



ひかりぐみ

一人ひとりの良いところ、素敵なおところが集まってできる『なかのしまちどりのき』。ひかり組では、時間を見つけて子どもたちと一緒に木を見にいっています。保育者が一人ひとりの葉っぱを見つけ、書かれていることを読み上げると、嬉しそうに笑ったり、喜んだり、興味をもって葉っぱを指さしたりする姿が見られました。みんな自分のことを読んでもらうとちゃんとわかっていて、すごく嬉しそうな反応を見せてくれるんですよ。毎日見せてくれるたくさんの笑顔、泣き顔、すねている姿、どこをとってもかわいいひかり組の子どもたち。ひかり組では、ふれあいあそびの時間を多く取り入れて過ごしてきました。『一本橋』や『きゅうりができた』『えんやらりんごのき』など保育者と触れ合うこと、そして楽しい気持ちを一緒に共有する機会を増やすことで子どもたちへの「大切に思っている気持ち」「みんなのことが大好き」という思いが一人ひとりに伝わってほしいなあ...と思い取り入れました！今では、保育者が誘いかけると保育者の周りに集まって「やって～！」「〇〇くんも！」の子どもたちです。最近は少しずつ友だちへの興味も強くなってきて、保育者と一緒に友だちをくすぐってみたり、一緒に寝転がってふれあいあそびをしたりと友だちへの関わりも濃くなってきました。まだまだ言葉より手や身体が先に出てしまう時期ですが、保育者が仲立ちとなりながら関わりをもち、子どもたちが自分の気持ちをありのままに伝えるように関わっていきたくです。



にじぐみ

にじ組になってから、子どもたちは個々の遊びから友だちと遊ぶ楽しさを味わいクラスの中で保育者と一緒にいろんな友だちと関わる姿が見られるようになってきました。また日々の生活面では、食事や着替えなど同じグループの友だちと一緒にいる中、苦手なものを頑張って食べている子に『がんばれー』と応援したり、どっちが早くできるかな？と早着替え競争をしたりしながら、子ども同士の繋がりを深めながら楽しく過ごしています。毎日、保育者や友だちと過ごす中で『だいすき』『ありがとう』『かわいいね』『かっこいいね』『すてきだね』などの思いを伝え合う大切さを伝えていながら、一人ひとりの思いに寄り添って関わることを心がけています。その思いが少しずつ分かるようになってきた子どもたちは、保育者や友だちにグューとハグをしたり、手をつないだり、思いを言葉で伝えようとする姿も見られるようになりました。にじ組で取り組んでいるふれあいあそび(あくしゅでこんにちは)わらべうたあそび(おふねがぎっちらこ)でも友だちの名前を呼んで『一緒に手をつなごう』と誘い合う可愛らしい様子も見られます。また、集団あそび(むっくりくまさん)(なべのなかのくり)では、みんなで手をつないでいると『お人形と一緒にだね』と平和の集いに向けて作ったお人形を思い出す子もいて、改めて子どもたちの素敵な気づきに感動しつつも、みんなで作ったお人形のようにみんなで手と手を取り合って仲良く楽しく過ごしていきたいと思いました。引き続きにじ組ではたくさんの愛情をもって子どもたち一人ひとりの気持ちを尊重できるような関わりをしていきたいと思ひます。





ほし組では「ぼく、私は、みんなに大好きだよ!!」とされている存在なんだよ。」ということを感じてもらいたいという思いから、4月から2人組のあそびを多く取り入れてきました。2人組のあそびでは協力したり相手を思いやる事が必要になる場面がたくさん出てきます。例えば、『2人組のいす取りゲーム』ではおんぶバツタの動きはお友だちが転んでしまわないように優しく背中に乗らないとなりませんし、『あたまかたひざぼんのふれあいあそび』相手の動きに合わせて両手をタッチしないとなりません。また『2人組の列車リレー』では歩く歩幅を合わせたり、バトンのボールをしっかりと手渡ししないと落としてしまいます。など、遊びの中で、お友だちが危なくないようにする

には?一緒に楽しむようにするには?お友だちに「だいじょうぶ?」「こっちだよ」「がんばろうね!」など声を掛けながら、自分たちでも少しずつ考えて遊べるようになってきました。子どもたちのやり取りを見てお友のことを大好きと知っているから、大好きとされているから、大切にしたい存在だからと感じているからなんだろうと微笑ましく思います。笑い合ったり一緒に力を合わせ色々なことを経験しながら「なかま」の存在に気づき、意識し、ステキな関係を育ててほしいと思います。



そらぐみ

そら組では平和の集いについて話をすると「葉っぱと手繋ぎ人形作ったよね」「肌の色が違うお友だちもいるよね」「みんなが笑って仲良しだね」と平和について少しずつ理解をし、子どもたちから話をする姿が見られました。部屋には、ほし組の時に取り組んだ自分の良い所探しの壁面を飾っていると「OOちゃんって絵が上手なんだね!」「飛行機が大好きなんだよね!」とお友だちの良い所を改めて知ると同時に、「いつもお手伝いをしてくれるよね!」「ありがとうって言ってくれるよね」とお互いの良い所を伝え合う姿も見られました。そこで、今年はお友だちの良い所探しに取り組みました。朝の会でみんなで輪になり、お友だちの良い所を聞くと「絵本を読むのが上手!」「いつもニコニコしているところ!」「一緒に遊んでくれるところ!」などたくさん教えてくれました。お友だちが自分の良い所を発表すると嬉しそうにする子ども達!知らなかったお友達の良い所を知る機会にもなり、とても心が温まりました。そして、今年「そらぐみの花」の壁面作りをしようと考え、お友だちの良い所をもっとたくさん見つけ、良い所の花をたくさん咲かせようと思われました。今後もこの取り組みを通して、子ども一人一人との関りを大切にし、気持ちに寄り添いながら、楽しく・明るく過ごす中で、「思いやりの心」「優しさ」を育てていきたいと思ひます。



ゆめぐみ



ゆめ組になり5か月が過ぎました。朝夕の長時間や散歩などで異年齢児と関わる事も多く、年下の友だちには「どうしたの?」「教えてあげる!」と思ひやりの心を持ち優しく関わる姿も多くなってきました。が、ゆめ組同士になると自分の思いが強くなりまだまだトラブルになる事もたくさんあります。懇談でもお話しさせて頂きましたが、就学に向け「自分の気持ちを表現するとともに、相手の気持ち・思いを理解する力」を身につけて欲しいと思ひ、トラブルがあった時には仲立ちをし双方の思いを聞き伝え、「こんな時はどうしたらいいかな?」と問いかけ一緒に解決しています。今回の平和の集いの取り組みでは、「どんなきもち?」という絵本を読みました。

「これからいろいろな事を聞くよどんな気持ちがするか教えてね。」と伝え、「OOしたらどんな気持ち?」「OOになったらどんな気持ち?」とさまざまなシチュエーションでどんな気持ちになるか意見を出し合いました。嬉しい、悲しい、寂しい、楽しいとさまざまな意見が出てきました。自分の気持ちについて考え相手の気持ちも考える良いきっかけになったのではと思ひます。また、毎日の朝の会で順番に友だちの『素敵な所探し』をしています。お友だちが「OOがじょうず!」「優しい!」「笑顔が可愛い!かっこいい!」など伝えてくれるたびに恥ずかしがりながらも嬉しそうな表情を見せてくれます。素敵な所探しを通して、『自分や友だちの良いところに目を向ける力』『肯定的な言葉で伝える力』『友だちの悪いところを指摘するのではなく相手の気持ちを考えて発言する力』が身につけて欲しいと思ひます。困りごとトラブルがあっても子ども同士で話し合っ解決していけるよう、子どもたちとたくさん関わり話をし、保育園生活最後の1年をみんな楽しく過ごしていきたいと思ひます。